

まちづくり交付金 事後評価シート

滑川駅周辺地区

平成19年12月

富山県滑川市

様式2ー1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県	市町村名	ナメリカワシ 滑川市	地区名	ナメリカワエキシュウヘンチク 滑川駅周辺地区
計画期間	平成16年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成19年度		
モニタリング実施時期	平成18年3月31日	事後評価実施時期	平成19年4月～平成19年12月	フォローアップ実施時期	平成20年3月～平成21年7月

1)事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業		道路(一般県道滑川停車場線)、地域生活基盤施設(ポケットパーク、歩行系案内サイン整備等)、高質空間形成施設(路面改修工事、無散水融雪工事)、地域創造支援事業、事業活用調査(事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(コミバスの社会実験)、事後評価調査							
	当初計画から変更した事業(変更した内容)		①道路(市道電工跡地2号線 0㎡→352㎡)、②地域生活基盤施設(自転車駐車場整備、発電施設整備事業の追加)、③高質空間形成施設(市道電工跡地2号線改修事業、駅前広場線シェルター設置事業の追加)、④高次都市施設(整備面積2,853㎡→3,203㎡)⑤地域創造支援事業(整備面積2,159㎡→2,267㎡)							
	変更した理由、目標・数値目標への影響等		①滑川駅周辺における快適で連続的な歩行空間を確保するため改修事業を追加、②荒天時の快適な歩行空間を創出するため、道路と一体的な自転車駐車場整備を追加、③滑川駅一駐輪場一公園通りの区間について、荒天時の快適な歩行空間を確保するため、シェルター設置事業を追加、④高次都市施設⑤地域創造支援施設(いずれも目標・数値指標への影響はなし)							
2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因	
				モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見	
	指標1	コミバスの乗客数	人/年	○	●		●		路線の増加、1回100円といった気軽さや市民交流プラザとの相乗効果が表れ乗客数が増加した。	
	指標2	ほたるいかミュージアムやタランピアの利用者数	人/年	×	×			●	歩行系サインの整備の遅れから回遊性の創出には至らず、利用者の増加には至らなかった。	
	指標3	民間商業施設(エール)の利用者数	人/年	×	×		●		商業施設内テナントの撤退等の影響から、利用者数は減少しているが、隣接地に市民交流プラザがオープンし、賑わいを見せており売上げ増となっていることから、今後の誘客が期待できる。	
	指標4	駅の乗降客数	人/年	×	×			●	少子化やモータリゼーション等の社会情勢の影響が大きく、減少傾向に歯止めがきかない。しかし、今後は市民交流プラザや歩行系案内サイン整備により、観光客の誘客が期待できる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値			効果発現要因	
					基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見	
	その他の数値指標1	公園通り商店街の歩行者通行量	人/日	592	H15	○	668		滑川駅周辺の一体整備により公園通り商店街の歩行者通行量に増加が見られた。	
	その他の数値指標2	市街地整備に対する満足度	%	21	H16	○	65		市街地整備に対し、市民の理解が得られた。	
	その他の数値指標3	市民交流プラザの利用者数(入浴者、軽運動室)	人/日	0	—	—	569		入浴施設と軽運動室には、1日当たり平均569人が訪れ、賑わいを見せている。	
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	平成16年度、公園通り商店街には4軒の空き店舗がありシャッター通りとなっていたが、公園通りのアーケードや路面改良などのリニューアル及び市民交流プラザのオープンを経て、人通りも増加し、空き店舗が解消された。									
5)実施過程の評価	評価項目	実施内容		実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	中間期におけるモニタリングの実施			予定どおり実施できた				今後も定期的な事業の見直しを行っていきたい。	
				●	予定していなかったが実施した					
					予定したが実施しなかった・できなかった					
	住民参加プロセス	市民アンケート調査 滑川市公共交通計画策定委員会		●	予定どおり実施できた				今後も、定期的な利用者満足度調査等を実施したい。 住民代表を交えた公共交通計画策定委員会などを定期的に開催し、住民要望を反映していきたい。	
					予定していなかったが実施した					
					予定したが実施しなかった・できなかった					
持続的なまちづくり	調査の実施 委員会の実施 まちづくり組織「株式会社まちづくり工房」の発足		●	予定どおり構築できた				TMOのメンバーが中心となりまちづくりについて協議を続けていたが、平成19年7月に街並み景観整備の計画づくりや物販を目的とする(株)まちづくり工房が設立した。今後はこの活動拡大を推進していきたい。		
				予定していなかったが構築した						
				予定したが構築しなかった・できなかった						

滑川駅周辺地区(富山県滑川市) まちづくり交付金の成果概要

滑川駅周辺地区
A=87.4ha

基幹事業：駅前広場線（アーケード整備）

□提案事業：コミバスの社会実験（市全域）

基幹事業：公園通り線

基幹事業：街なか休憩スペース

基幹事業：滑川市民交流プラザ
□提案事業：

都市再生整備計画区域	
道路	コミバスの社会実験
地域生活基盤施設	滑川分水施設
	街なか休憩スペース
	歩行系案内
	駐輪場整備
基幹事業	市道電工跡地7号線
	市道滑川駅前区画1号線
	市道電工跡地2号線
	駅前広場線
高質空間形成施設	公園通り線
	駐輪場内通路
	水スポーツ等の無散水施設
高次都市施設	市民交流プラザ
地域創造支援事業	市民交流プラザ
提案事業	コミバスの社会実験
	まちづくり活動推進事業
	コミバスの社会実験

●登録文化財

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	中心市街地において、交流拠点として市民交流プラザが完成したことにより、1日平均500人を超える方が訪れ、中心市街地が再生され目標が達成されたが、ほたるいかミュージアムやタランポアの入場者が伸びず指標数値が未達成となった。今後はこれら観光施設との連携を強化するため、ほたるいか観光の期間は市民交流プラザを早朝からオープンし、入浴や食事ができるようにするなど、観光客の利便性を向上します。また、北国街道の散策など、気軽に散歩できるよう散策マップを作成したところであり、回遊性を高め更なる魅力の向上を図る必要がある。
---------------------------------	--